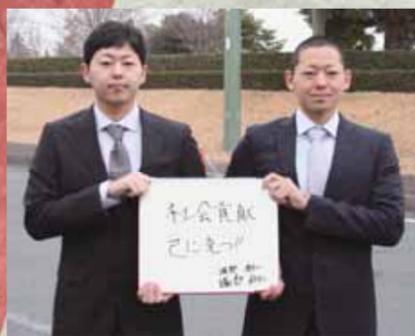


二十歳の抱負



▲新成人たちの笑顔で華やぐ会場



▲記念撮影で友人との再会に笑みがこぼれる

「皆さんのような若い世代の発想やエネルギーに期待しています」と祝いの言葉を述べました。また、「これからの輝かしい人生で知性と心身を磨き、何事にも努力を惜しまず、全国、そして世界へ羽ばたいていくことを心から願います」とエールを送りました。

その後、来賓祝辞や教育委員長の記念品贈呈、新成人代表の窪田光浩さんの成人の主張、小学校区ごとの記念撮影などがありました。また、新成人8人が「2014新

成人コンテスト「帰りの会をもう一度〜1分間スピーチ〜」で夢や今頑張っていることなどを発表しました。それぞれの意見に耳を傾ける新成人の顔は和やかでした。最後に、恩師から「これからは責任が伴います。不幸になるか、幸せになるかは自分次第。20年後、30年後に自分がどんな姿でいるのかを考えたがどんな姿で出たいのかあなたたちの幸せを心から願っています」などのビデオメッセージや小中学校の写真がスクリーンに流れると、新成人は懐かしさから歓声を上げ、生徒の顔に戻って聞き入っていました。



平成26年菊陽町成人式

菊陽町成人式が1月12日、菊陽町図書館ホールで開催されました。新成人たちは大人への自覚と決意を胸に、新たな一歩を踏み出しました。

今年の成人式は、平成5年4月2日から平成6年4月1日までの間に生まれた334人が対象で301人が出席しました。艶やかな振り袖や羽織はかま、真新しいスーツに身を包み、久しぶりに会った友人や恩師と話に花を咲かせたり、写真を撮ったりする姿が会場のあちこちで見られました。



▶記念撮影での表情

▲成人式の企画や運営に携わった成人式実行委員の(左奥から)森みなみさん、柿原美紀さん、森田桃子さん、平木綾香さん、坂本晏さん、水上友絵さん、(左前)満永圭亮さん、河北将紀さん、上川哲平さん、猪久保克憲さん、窪田光浩さん、徳永寛明さん、上野貴幸さん、山田竜樹さん、政岡晴行さん

成人の主張



▲新成人を代表して堂々と誓いの言葉を述べる窪田光浩さん

本日、私たちは新たな一歩を踏み出す成人式を迎えることができました。私たちにとって一生に一度の晴れ舞台をこのような大変素晴らしい形で祝っていただき、町長をはじめ来賓の皆さまや関係者の皆さまに心から感謝しています。皆さまのご期待に沿えるような大人になることを誓い、自分を見失わず、若者らしく一日一日を大切にしながら社会に貢献できるように努力してまいります。今後とも良きご指導をさせていただきます。さて、今回のテーマは「夢・感謝」です。皆さんも夢を持たれていてほしいと思います。私の夢はたくさんありますが、一つは公務員になることです。この夢はこれから先の話ですが、既に、実現した夢もあります。それは、中学校の時から夢であった、自分の野球チームを持つことです。「クボターズ」というチームで最初は遊び感覚で試合に出ていました。しかし、次第に負けるのが悔しく、優勝したいと感じるぐらいチームは育っていききました。そして昨年、町内大

会や寺原杯で優勝することができました。自分を支えてくれたチームのみんなや両親、道具を安く提供していただいたスポーツ店、中でも影で支えてくれたクボターズ代表の緒方元紀には感謝しています。皆さんはこれまでの人生の中で挫折しそうなことがあっても乗り越えませんか。しかし、長い人生の中で、まだ二十年間しか生きていません。私たちはまだ人生の夢の途中にいるということなんです。夢の途中で支えてくれる人は必ず出てきます。あるいは支えられてきたと思います。だから出会う一人一人に感謝を持って、自分の夢に向かって進んでいきたいと思います。今日の成人式を大きな節目と考え、成人という自覚を持ち、精いっぱい生きていこうと思います。最後になりましたが、このような機会をつくっていただきありがとうございます。これを成人の主張と代えさせていただきます。

平成二十六年一月十二日
新成人代表 窪田 光浩

2014新成人コンテスト「帰りの会をもう一度～1分間スピーチ～」

上川哲平さん



菊陽で生まれて育ち、いつも近所の公園で野球や缶蹴りをして遊んでいました。この前その仲間とお酒を飲み「30・40代、おじちゃんになって一緒に飲んでいきたい」と思いました。これからももう思える仲間を大切にしていきたいです。

森田桃子さん



服飾関係の仕事に就きたいと高校・短大でたくさん学びました。あのときの私が今の進むべき道を作り、去年服飾関係の就職先に内定をもらいました。熊本を出てつらいときも帰ってくる場所があるから頑張れた！。いつか必ず帰ってきます。

深澤希一さん



「やりたいことを必ずやる」。今、それを心に決めて頑張っています。去年の3月から海外に留学し、海外の友達と英語で交流して一回り成長できました。今年もやりたいことをやり遂げて、楽しい一年にしていきたいです。

宮川夏実さん



小学校からバスケット部に所属し、最高の仲間と苦しい練習を乗り越えました。技術や個性を育ててくれ、厳しさの中の大きな優しさで包んでくれた先生に感謝しています。それらは、これからも大切に思い出として心の中にあり続けます。

本田美貴さん



国際医療救護部の一員になることを目指して医療の道を進んでいます。国内外問わず戦争や自然災害があるとき中立的な立場で救命を行う団体です。もっと勉強しているんな経験を積んで、ふさわしい人材になれるよう努力していきたいです。

西澤雅さん



高校の時、就職指導の人から「愛知にこないか」と言われ、今愛知で仕事をしています。その人に「社会はライオン」と言われました。仕事や人間関係の問題にどう立ち向かうかは個人個人の判断です。自分なりに工夫して挑んでいきたいです。

松本紗哉香さん



小中学校でサッカーをしていて、よく男の子に間違われていました。「今はこんなに女の子になりましたよ」と言い返したいです。今、鹿児島大学の看護学専攻で看護師を目指しています。自分の行動に責任を持って頑張りたいです。

緒方元紀さん



野球チームを友人と作りました。夢は口に出して実行すればいいです。周りが支えてくれます。私は菊陽町が好きです。一緒に青春時代を過ごした仲間がいるからだと思います。みんなも仲間を大切に、やりたいことをしてほしいです。



菊陽中部小校区(西)



菊陽中部小・菊陽南小・菊陽北小校区(東)



武蔵ヶ丘小校区



菊陽西小校区



武蔵ヶ丘北小校区



菊陽中部小学校
町花「菊」が太陽の光を浴びて上へ伸びる様子が表現され、児童の未来が光り輝き、果てしなく開くようにとの願いが込められていると考えられる。



菊陽南小学校
菊の花の周りを菊の葉が包み、光が差している様子を表し、児童が夢を抱いて希望の花を咲かせ、元気に伸びゆくようにとの願いが込められていると思われる。



菊陽北小学校
明治7年に原水小学校が開校し、昭和30年に菊陽北小学校と改称。原水小学校の「原」を中央にイメージし、町のシンボルである菊の花で周りを包んでいる。



武蔵ヶ丘小学校
円は太陽を表し、太陽から伸びた三角は杉並木と武蔵の剣を表現している。菊の花びらは児童の夢がかなう、花開くようにとの願いが込められている。



菊陽西小学校
太陽の光を受けて明るく大地に脚を張り、天を望み、そびえ立つ杉の雄々しい姿を表している。子どもたちがたくましく成長するよう願いが込められている。



武蔵ヶ丘北小学校
町のシンボルである菊の花を頂に置き、緑あふれる自然を菊の葉で包んでいる。明るい太陽を中心に、子どもたちの健やかな成長を祈念したものである。



菊陽中学校
菊陽町は、菊池郡の南方に位置し、陽光さんとして輝き、前途の希望は洋々たるものがあるという意味から、菊の花をモチーフに考案されたと考えられる。



武蔵ヶ丘中学校
全体は、武蔵ヶ丘の「M」を表し、開かれ、重ねられた本の形や地域と共に伸びゆく武蔵ヶ丘中学校を飛び立つ鳥の姿を表現。三本の白線は制服の印象を表している。